

2068

おしやれ
おしやれ
は
おし
おし

去年の十二月

人がおすわて来た

やたらう 人に あうつ もりほるん

おまかし 美容の こととて おせわにらう 此君のあし

のひと 言て 乙女を あけら

そこに 立ちて いたのほ

つわね けうの 元セータレ のあう 空のま

まとい ころ 立ちまつくて きらねるの

上着を きこいた

浦和で 大子今 美容材料 の店が あり

そこの 長男が いた

スリッパ とした 青年が いた

同じ人とは 思え ない

その日 人ごま には けいけい なの

昨日 子と きこいた 老匠 117 けいの こと

着て いる 私 何ともし 存けられ 何と 思わぬ

言葉の 通くに ころし かけ あり 何故か ありて

その ときか なく あり あり とも なる

